

## 第2回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録

場 所：東久留米市役所7階701会議室

日 時：平成28年9月28日（火）14：00～16：00

出席者：（敬称略・順不同）

（審議会委員） 松波委員 紺野委員 佐藤委員 工藤委員 井田委員 酒井委員

桑原委員 斎藤委員 松田委員 田原委員

（事務局） 山下部長 中谷課長 上田管理係長 曾田

（コンサルタント）株式会社市川環境アセス 吉田氏 鈴木氏

傍聴希望者 なし

配布資料

資料1：席次表

資料2：第2回廃棄物減量等推進審議会次第

資料3：現行計画の進捗状況（報告）

資料4：可燃ごみ組成割合

〈東久留米市廃棄物減量等推進審議会〉

1. 会長より開会の挨拶

2. 事務局より、配布資料の確認

3. 第1回東久留米市廃棄物減量等推進審議会会議録の承認

4. 議題

〈組成分析調査について〉

【委員】その他可燃物は、どのような物になりますか。

【事務局】紙屑、おむつ、布切れ等になります。

【委員】リサイクル可能な紙類はどのような物が多くなっていますか。

【事務局】主に、ざつ紙類となります。

【委員】なぜ収集日以外捨てられないボックスの方が袋収集より、分別協力率がよくなっているのでしょうか。

【事務局】収集日以外捨てられないボックスは、地域で排出管理の徹底がされているボックスとなるため、分別協力率は高くなっています。

【委員】今後は、ボックス収集がなくなりますが、集合住宅の排出形態が変わりません。集合住宅においても排出管理をきちんとすることで、分別意識の向上は見込まれると思います。

#### <現行計画の進捗状況・新たな施策について>

【委員】他市の事例ですが、戸別収集の実施をすると、旧集積所への排出による不法投棄が増加します。戸別収集を定着させるためには、廃棄物を直ちに撤去する体制が必要です。

【委員】戸別収集は、不適物が混入されている場合は収集しないことを徹底することで、分別の向上が見込まれます。

【委員】集合住宅で、ダンボールコンポストを実施していますが、できた堆肥の使い道がないため、市で回収し利用するなどの施策があれば集合住宅においても実施件数は増えると思います。

【委員】学校給食の残飯はどうしていますか。

【事務局】学校は事業系ごみとなるため、許可業者が処理しています。

【委員】学校給食は必ず多くの残飯がでるため、それを堆肥化等で資源化することで、ごみの減量になり、子供たちの教育にもなります。

【委員】他市ではHPの他に、スマートフォン向けのアプリを活用し、収集日やごみの分別の啓発を行っています。

【委員】幼稚園・保育園のときにも清掃工場や資源センター等の工場見学を取り入れ、小さいころからごみの分別等への関心を育むと効果的だと思います。

【委員】一部のスーパーでは、商品の包装をトレイからフィルム（袋）へ変更するなど、過剰包装を抑えている店舗があります。

【委員】持込ごみは、抜き打ち検査を行うことにより、分別の意識を向上させる。

【委員】 ペットボトルのラベル・キャップの分別などの啓発を集積所に貼っておくといいと思います。

【委員】 拠点回収箇所を増やせば、様々な箇所で出すことが可能となり、排出しやすい環境となるので、効果的だと思います。

【委員】 流通可能な資源品目は資源化するべきだと思います。

【委員】 分別の向上には、日頃分別排出に興味のない人に周知を図ることが重要です。その為には、イベントやキャンペーンを実施していくなかで、どのようにすれば興味を持たせるか工夫が必要になります。

<その他>

【事務局】 次回の審議会の開催は10月24日（月）になります。